

真に効果のある子育て施策－安全・安心でおいしい給食の提供－
を求める決議

上記の議案を別紙のとおり、瀬戸市議会会議規則（昭和32年瀬戸市議
会規則第1号）第12条の規定により提出します。

令和 7 年 6 月 24 日

瀬戸市議会議長 富田 宗一 殿

提出者 瀬戸市議会議員

賛成者

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

小澤 瑞
柴田 利勝
黒柳 知世
宮 蘭 伸仁
朝井 賢次
高島 淳
山内 精一郎
三木 聖実
堀田 李央

7年議員提出第4号議案

真に効果のある子育て施策－安全・安心でおいしい給食の提供－を求める決議

受益者負担には一定の合理性があることから、市単独での給食費無償化を最優先とせず、国・県の補助を求めながら安全・安心でおいしい給食の提供を核とする持続可能でさらに魅力的な給食施策と子育て支援の実現を強く求める。

- 1 市単独での給食費無償化を最優先とせず、財源の持続性と制度設計を図ることで、真に効果のある子育て施策を示すこと。
- 2 給食費無償化に偏らず、「栄養・質・楽しさ・地産地消」に優れた給食づくりを推進すること。
- 3 給食センター・各校調理室のインフラ整備や、給食に携わる人材の処遇改善に積極的に投資すること。
- 4 国の支援と連携しつつ、瀬戸市独自の食育・教育的給食を充実させる方向で給食施策を再構築すること。
- 5 国の臨時交付金は「子ども・子育て」政策へ優先的に使用すること。

以上、決議する

令和7年6月27日

瀬戸市議会

(理 由)

給食費無償化の議論が進む中、給食の「内容」や「教育的価値」が軽視されている事を危惧している。また、栄養士や栄養教諭は、日々給食に対し様々な工夫をされているが、物価高の中で予算が限られると工夫にも限界がある。本来の子育て政策とは、子どもたちの健やかな成長を支える「質の高い環境」の整備である。瀬戸市の給食施策は、地場産品を活用し、地域農業との連携を図ること、食育や体験を通じた教育的要素をさらに取り入れ、深めることで、給食の時間を「楽しみな時間」にする工夫などの点を重視することが重要である。「栄養・質・楽しさ・地産地消」を柱とした給食づくりを進め、瀬戸市独自のモデル構築の実現を求めるため決議する必要があるからである。